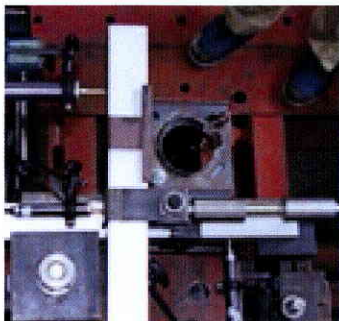


社 報



食人はいらん！

角締め金物の試験



角締め金物の強度試験を日本建築総合試験所で行いました。結果は……？な感じです。はっきり言えば失敗でした。こんなことではくじけません。製品をさらに改良して、7月に再度チャレンジいたします。



祝！スカイツリー 5/22開業

世間話のレベルではありますが、よく食べるために働いている、と言う人がいます。働かねば食べていけない、これは事実です。労働の対価として金銭を得、生活は維持できるわけです。大資産家であれば、資産の余禄でも十分に食べていけるので、働かなくても良いのでしょうか、そのような人は一般的ではありません。

では、世間一般の話として、働かねば食べていけない、と言うことは常識、社会の前提であるとすれば、なぜ人はそういう言葉を発するのでしょうか。

食べる為にだけ働く人など、この文明社会では皆無です。皆、職業の選択の自由も与えられていますし、労働時間以外には自由な時間と場所を楽しむこともできます。

食べるために働くとは、奴隷のような状況を言うのでしょうか。労働者として隔離・監視され、強制的な労働に従事しなければ処罰を受ける、中世のような状況は、近代社会では見受けられることはありません。

食べるために働く、とは社会を維持

する前提なのです。社会が働かない人ばかりで構成されていたら、社会そのものが成り立ちません。いろいろな職業の人がいて、モノを作ったり、売ったり、サービスをするからこそ、豊かな社会が維持され、皆が便利になるのです。

大の大人がその常識をも忘れるような言動は慎まねばなりません。ジョークや話の付録で言うのは別にしても、真剣に言うことではありません。

「食べる為に働いている」と真剣に言う人は、労働は悪であり、労働は嫌だと考えているのでしょうか。社会が人々の労働の成果で成り立っているのに、労働は嫌だと言うのでは怠け者と言われてしまいます。

この言動を言う人は、仕事の対価としての報酬だけに興味があるように思います。

人は自分がどれだけの仕事して、仲間(社会)に貢献しているかに評価を持たねばなりません。ただ仕事をして、食を得て、自分さえ良ければそれでよし、では人間の人生は完成しないと思います。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

怪我しないために考える

考え方を換えれば、行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば性格が変わる、性格が変われば人生が変わる。

清水建設の前副支店長が良く言われておられ、まさに至言・名言です。

怪我をしないために考える。考えれば行動が変わりますから、怪我

をしない為に考えなければ、行動も変わることなく、行動災害が発生してしまいます。

考えれば、行動が変わり、それがいつのまにか習慣化して、自然と怪我をしない行動ができる。

これこそまさにプロだと思うのです。

2012年 安全成績

■現場災害 H24.1.1-H24.4.30

休業災害	-----	0
不休災害	-----	2
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	2

■交通災害 H24.1.1-H24.4.30

人身災害	-----	0
物損災害	-----	0
合計	-----	0